

雷雨の中でも元気に

～ 第22回元旦に歩こう会～



「今年は馬のように駆けるぞ！」

元日、仁賀保歩こう会主催の新春恒例「元旦に歩こう会」が、スマイルを発着点に行われました。今年で22回目を数えるこの歩こう会は、健康づくりと初詣を兼ねて毎年行われています。

今年はいにくの雷雨に見舞われ、例年より参加者が少なく、コースも短縮となりました。しかし、参加者らは悪天候をものともせず足取り軽やかに、室内神社・熊野神社・八幡神社の計3つの神社を参拝しながら、「一年の計は元旦にあり」と清々しい面持ちでウォーキングを楽しんでいました。

実り多き年を願い、飲む

～ 酒飲み占い～

1月1日、象潟町関の諏訪神社で毎年恒例の酒飲み占いが行われました。これは、関地区3集落（奥川・町・立石）の代表者が日本酒の飲みっぷりを競い、その集落における稲の作柄を占うことを目的に行われています。

占いが始まると、大盃に日本酒がなみなみと注がれ、集落の代表者がそれを口に運びました。その際、日本酒の冷たさに戸惑う一幕も見られましたが、代表者全員で1升瓶を空にするなど、例年になく飲みっぷりが見られました。結果は、立石集落が大豊作、奥川集落が豊作、町集落が平年並みとのことでした。



勢いのある飲みっぷりに思わず見入る

重要性を増す、地域防災の要

～ 平成26年にかほ市消防出初式～

1月5日、金浦体育館で平成26年にかほ市消防団出初式が行われ、消防団員や消防署員、地元関係者など約600人が参加しました。

式では、横山市長が「県の地震被害想定では、市内で多くの死傷者が予想されている。消防団には、住民と共に地域の絆を強め、防災体制の強化をお願いしたい」などと訓示したほか、消防活動に功績のあった27団体・140人に表彰状や感謝状が贈られました。また、式の最後には、にかほ市纏振り振興会の演技が披露され、1年の無火災と災害への備えを確認しました。



火災や災害の無い年になりますように

「ワクワクドキドキ」お話しの世界

～ 読み聞かせボランティアいぶき：クリスマスお話し会～



情感豊かな語り口に、聞き入る子どもたち

図書館こぴあで12月21日、読み聞かせボランティアいぶきによる「クリスマスお話し会」が行われ、会場に訪れた約30人の園児や児童は、大きな絵本やマジックショー、演劇など多彩な出し物を楽しみました。

このお話し会は今回で15回目。絵本や紙芝居の感情豊かな読み聞かせに身を乗り出して聞き入ったり、人気のあるマジックショーに「なんで」と首を傾げる様子が見られました。またエプロンシアターや演劇などたくさんの演目に飽きる間も無く、最後には、サンタクロースから一人ひとりにプレゼントが手渡されました。

心に響く、プロの歌声

～ 辛島美登里／トーク&ライブ～

12月21日、仁賀保勤労青少年ホーム音楽ホールを会場に、歌手の辛島美登里さんによる「トーク&ライブ」が行われました。プロの歌声とトークが聞けるとあって、会場は約350人の聴衆で溢れました。

冒頭のトークでは「10～15歳ぐらい若い服装をしませんか。小さなトライが大きなトライをする勇気を生みますよ」等と、若さを保つ秘訣を明かしてくれました。また、ライブでは、事前に募集したリクエスト曲や、自身のヒット曲「サイレント・イヴ」など12曲が披露され、心に響くプロの歌声に会場が包まれていました。



透明感のある澄んだ歌声に聴衆は惹き込まれた

マグネシウム+塩水+活性炭＝電池！？

～ 米村でんじろうサイエンスプロダクション実験教室～



マグネシウムと活性炭、塩水をかけると！？

スマイルで12月26日、米村でんじろうサイエンスプロダクション実験教室「マグネシウム電池をつくろう」が行われ、市内外から29人の児童が参加しました。

マグネシウムが塩水に溶けるときに電子を放出、その電子が活性炭に取り込まれ電池になるという仕組み。児童らは、キッチンペーパーに包んだマグネシウムと活性炭に塩水をかけ、アルミホイールで巻いて電池を作りました。手作り電池がすぐに熱を帯びてくることに驚きの表情を見せ、その電池を風力モーターカーに繋ぐと勢いよく走り出す様子に歓声があがりました。